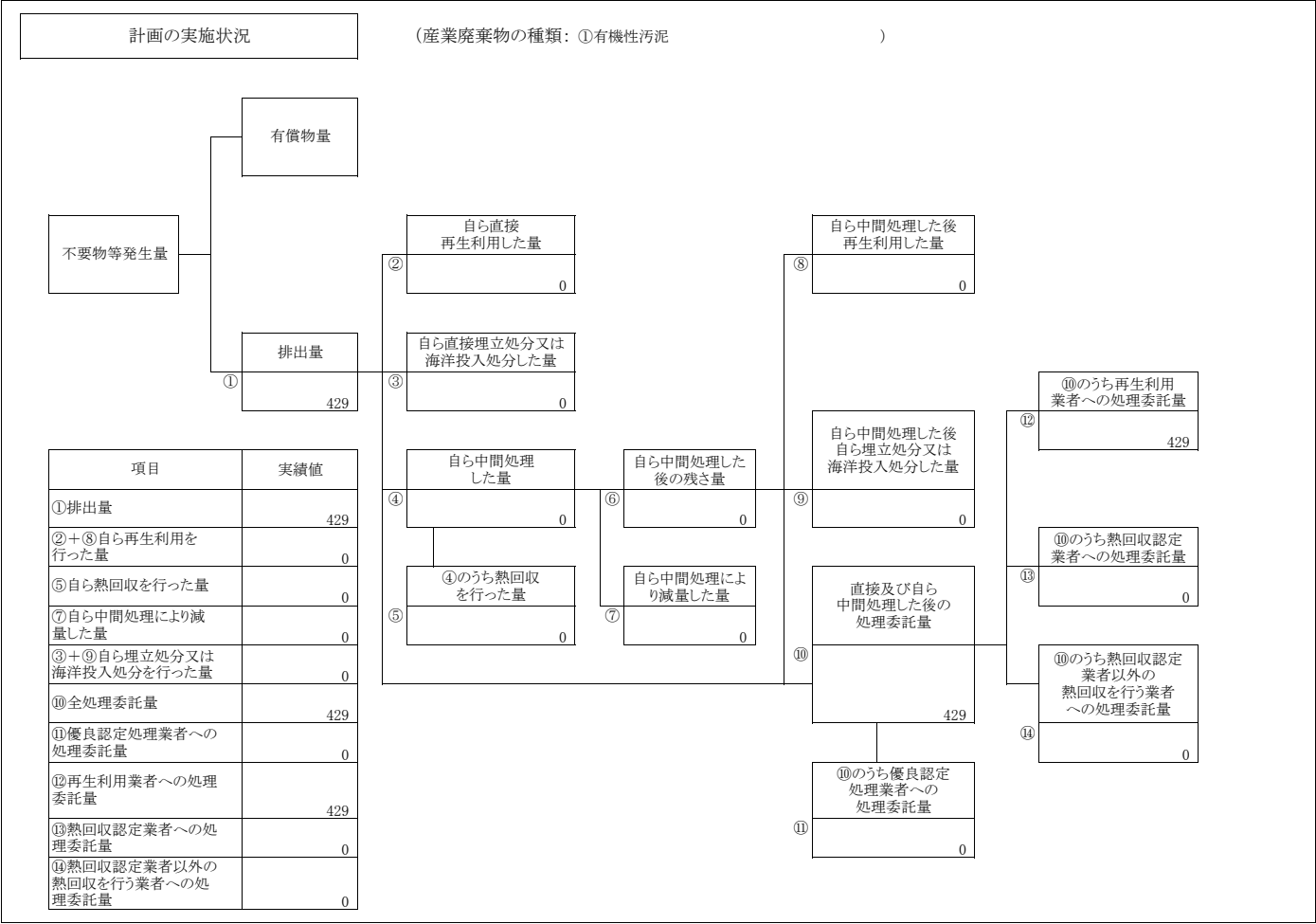
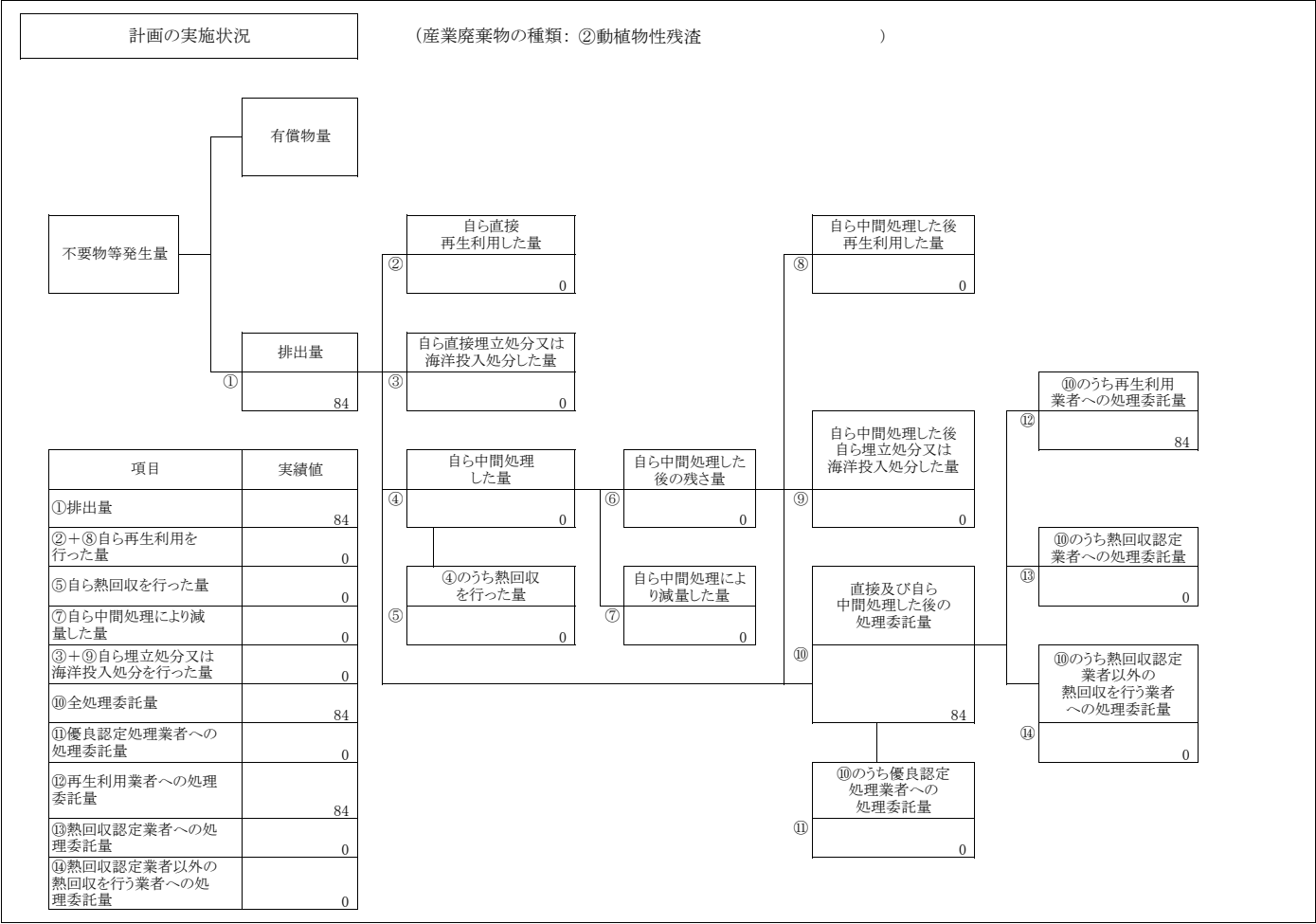
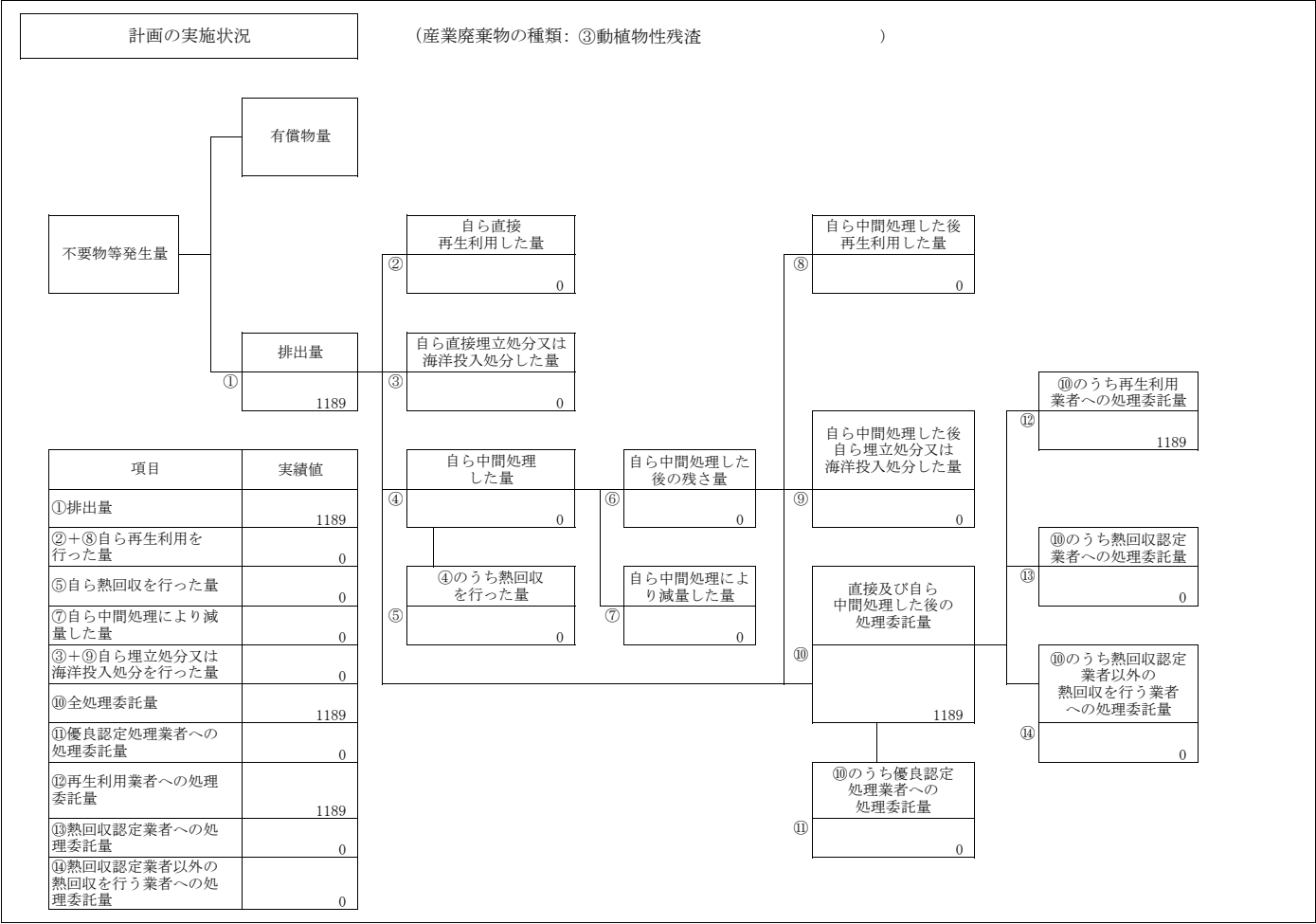
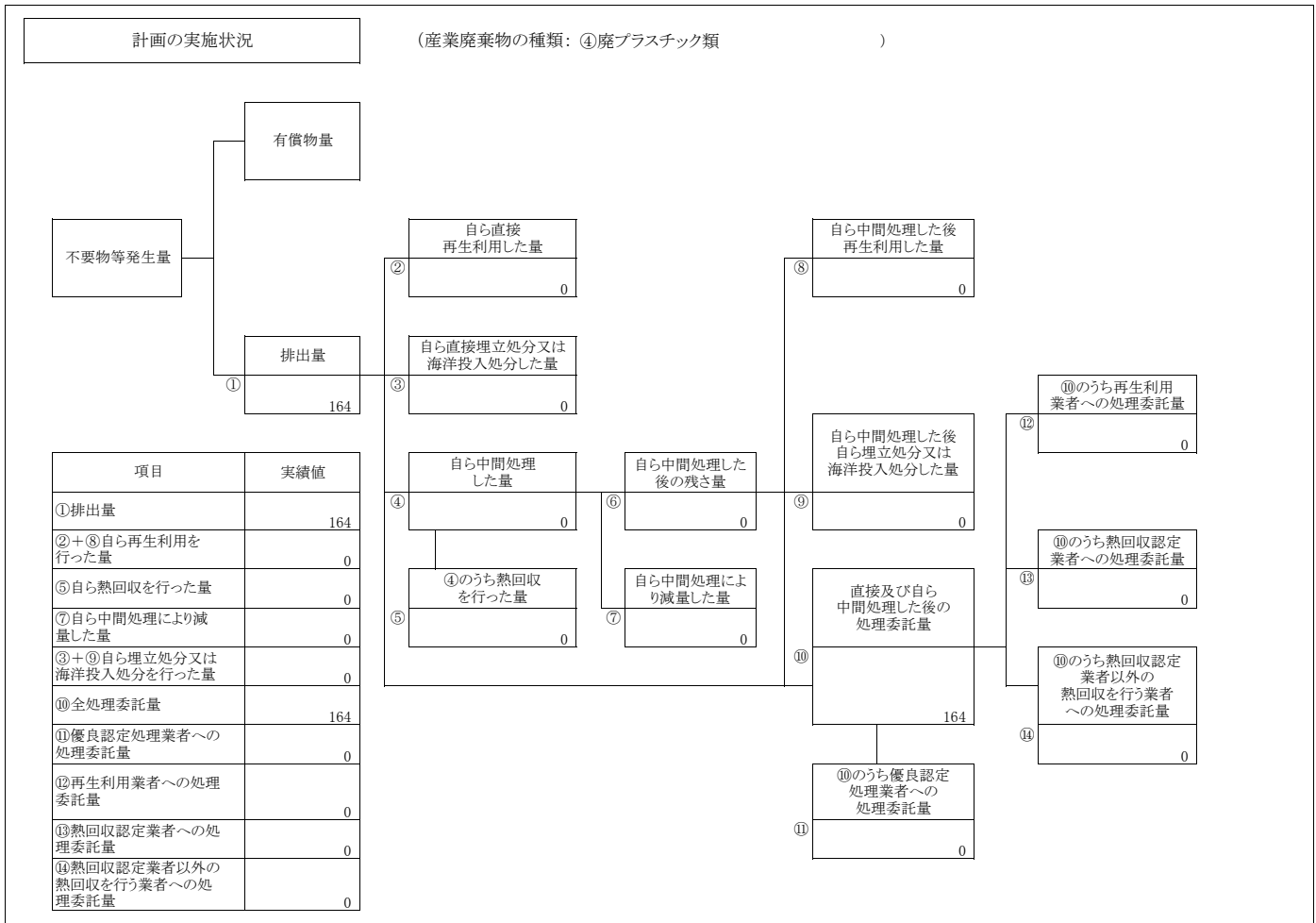


産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和6年 6月 19日			
堺市長 殿			
提出者			
住 所 大阪府堺市中区土塔町1991番地			
氏 名 泉南乳業株式会社			
代表取締役社長 吉田茂夫			
電話番号 072-236-0888			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5 年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。			
事 業 場 の 名 称	泉南乳業株式会社 堺工場		
事 業 場 の 所 在 地	大阪府堺市中区土塔町1991番地		
事 業 の 種 類	10:飲料・たばこ・飼料製造業		
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	1760t	全 処 理 委 託 量	t
自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t
自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	1600t
自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t
※事務処理欄			









計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑤汚泥)

不要物等発生量

有償物量

排出量

①4

②自ら直接再生利用した量

0

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

0

④自ら中間処理した量

0

⑥自ら中間処理した後の残さ量

0

⑧自ら中間処理した後再生利用した量

0

⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

0

⑩のうちの再生利用業者への処理委託量

0

⑩のうちの熱回収認定業者への処理委託量

0

⑩のうちの熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

0

⑪直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

4

⑪のうちの優良認定処理業者への処理委託量

0

④のうちの熱回収を行った量

0

⑦自ら中間処理により減量した量

0

項目	実績値
①排出量	4
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	4
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書の【別紙】

送 出 先						
住 所	名 称	担当部署	担当書名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を継続的に管理する又はその名称	産業廃棄物を排出する事業場を継続的に管理する事業場の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪府堺市中央土庫前1991番地	豊南乳業株式会社	製造グループ				

産業廃棄物の種類		計 算 の 要 素										送 出 先						Z+⑧ 自ら再々利用 を行った量⑩	Z+⑨ 自ら埋立処分又は再 投入処分を行った量⑪
		①排出量 (t)	②自ら直接 再々利用した量 (t)	③自己消費・販売 又は海洋投入 処分した量④ (t)	⑤自ら中間処理した 量 (t)	⑥⑦のうち、 中間処理を行った量 (t)	⑧自ら中間処理 した後の残量 (t)	⑨自ら中間処理 した後の残量 (t)	⑩自ら中間処理 した後の残量 (t)	⑪自ら中間処理 した後の残量 (t)	⑫自ら中間処理 した後の残量 (t)	⑬再々利用事業者への 処理委託量⑭ (t)	⑮再々利用事業者への 処理委託量⑯ (t)	⑰その他の中間処理 委託量⑱ (t)	⑲再々利用事業者への 処理委託量⑳ (t)				
コード 参照	名 称	(注＝①-②-③-④+⑤+⑥-⑦-⑧＝⑩+⑪+⑫+⑬+⑭)																	
産業廃棄物の種類		発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理せず再々利用から再々利用した量	①の量のうち、中間処理せず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の量②中間処理した量	①の量のうち、自ら中間処理した後の残量	①の量のうち、自ら中間処理した後の残量	①の量のうち、自ら中間処理した後の残量	①の量のうち、自ら中間処理した後の残量	①の量のうち、自ら中間処理した後の残量	①の量のうち、自ら中間処理した後の残量	①の量のうち、自ら中間処理した後の残量	①の量のうち、自ら中間処理した後の残量	①の量のうち、自ら中間処理した後の残量	①の量のうち、自ら中間処理した後の残量	①の量のうち、自ら中間処理した後の残量	①の量のうち、自ら中間処理した後の残量		
210	①有機性汚泥	429															0		
1000	②動植物性残渣	84															0		
1000	③動植物性残渣	1,189															0		
600	④廃プラスチック類	164														164	0		
1300	⑤汚泥	4													4		0		
	⑥																0		
	⑦																0		
	⑧																0		
	⑨																0		
	⑩																0		
	⑪																0		
	⑫																0		
	⑬																0		
	⑭																0		
	⑮																0		
	⑯																0		
	⑰																0		
	⑱																0		
	⑲																0		
	⑳																0		
合計		1,871	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,871	1,703	0	164	0		

(注1)トン単位の単位として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。
(注2)上記の産業廃棄物の種類以外の排出実績があった場合は、必要に応じ、直接追加記入するとともに、第2面も追加してください。